

# 令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 兵庫県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ						
-	尼崎総合医療センター	2	西宮市	中央病院	20	公立豊岡病院組合	公立豊岡病院日高医療センタ	38
-	西宮病院	3	芦屋市	芦屋病院	21	公立豊岡病院組合	公立豊岡病院出石医療センタ	39
-	加古川医療センター	4	伊丹市	伊丹病院	22	公立豊岡病院組合	公立朝来医療センター	40
-	淡路医療センター	5	相生市	相生市民病院	23	公立八鹿病院組合	公立八鹿病院	41
-	ひょうごこころの医療センタ	6	赤穂市	赤穂市民病院	24	公立八鹿病院組合	公立村岡病院	42
-	丹波医療センター	7	西脇市	西脇病院	25	北播磨総合医療センター	北播磨総合医療センター	43
-	こども病院	8	宝塚市	市立病院	26			
-	がんセンター	9	高砂市	高砂市民病院	27			
-	はりま姫路総合医療センター	10	川西市	川西市立総合医療センター	28			
-	粒子線医療センター	11	三田市	三田市民病院	29			
-	災害医療センター	12	加西市	加西病院	30			
-	リハビリテーション中央病院	13	宍粟市	公立宍粟総合病院	31			
-	リハビリテーション西播磨病 院	14	加東市	加東市民病院	32			
-	県立西宮病院と市立西宮中央 病院との統合再編事業	15	たつの市	市民病院	33			
-	県立がんセンター建替整備事 業	16	神河町	公立神崎総合病院	34			
神戸市	中央市民病院	17	香美町	公立香住病院	35			
神戸市	西市民病院	18	新温泉町	浜坂病院	36			
明石市	市民病院	19	公立豊岡病院組合	公立豊岡病院	37			

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 尼崎総合医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	78,395 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	48	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	714	84.3	78.9	79.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	8	56.9	53.2	56.3
感染症	8	70.6	49.1	60.9
計	730	83.8	78.3	79.2
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	9.5	9.5

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,648,172,795	
標準財政規模(千円)	1,101,386,098	
財政力指数	0.61217	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	326.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	38,724,361			
1 経常収益	38,704,400			
(1) 医業収益	32,234,893			
(うち修正医業収益)	31,847,744			
入院収益	21,733,436			
外来収益	9,558,886			
診療収入計	31,292,322			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	942,571			
(うち他会計負担金)	387,149			
(2) 医業外収益	6,469,507			
(うち国・都道府県補助金)	99,608			
(うち他会計補助・負担金)	5,122,166			
(うち長期前受金戻入)	944,999			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	19,961			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	37,566,719			
2 経常費用	37,557,361			
(1) 医業費用	35,733,166			
職員給与費	18,265,634	56.7	59.4	52.8
材料費	10,766,635	33.4	26.1	31.5
(うち薬品費)	4,989,694	15.5	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	5,608,117	17.4	11.8	13.9
減価償却費	1,662,739	5.2	8.7	7.7
経費	4,727,705	14.7	22.1	18.0
(うち委託料)	2,817,226	8.7	11.7	10.7
研究研修費	128,142			
資産減耗費	182,311			
(2) 医業外費用	1,824,195			
(うち支払利息)	165,522	0.5	1.0	0.9
(3) 特別損失	9,358			
経常損益	1,147,039			
純損益	1,157,642			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.1		103.3	102.8
医業収支比率	90.2		85.5	90.3
修正医業収支比率	89.1		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	14.2		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	17.1		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	14.2		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	88.4		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	211,468,187
1 固定資産	181,143,849
(1) 有形固定資産	167,605,426
(2) 無形固定資産	52,731
(3) 投資その他の資産	13,485,692
2 流動資産	30,324,338
(1) 現金及び預金	2,404,041
(2) 未収金及び未収収益	26,957,359
(3) 貸倒引当金( )	37,681
(4) 貯蔵品	635,696
3 繰延資産	-
負債合計	222,684,609
1 固定負債	165,960,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,561,336
(2) その他の企業債	5,302,136
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,096,862
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	31,551,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,661,531
(2) その他の企業債	858,336
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,335,000
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,898,652
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,172,612
(1) 長期前受金	25,172,612
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-11,216,422
1 資本金	22,151,888
2 剰余金	-33,469,305
(1) 資本剰余金	6,685,164
(2) 利益剰余金	-40,154,469
負債・資本合計	211,468,187
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	11,216,422
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,897,000	5,509,315
資本勘定繰入	585,568	585,568
計	3,482,568	6,094,883

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 西宮病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,578 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	400	74.1	72.3	71.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	74.1	72.3	71.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	10.2	9.9

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,648,172,795	
標準財政規模(千円)	1,101,386,098	
財政力指数	0.61217	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	326.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,469,134			
1 経常収益	13,451,777			
(1) 医業収益	11,200,813			
(うち修正医業収益)	10,778,814			
入院収益	7,598,383			
外来収益	2,990,019			
診療収入計	10,588,402			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	612,411			
(うち他会計負担金)	421,999			
(2) 医業外収益	2,250,964			
(うち国・都道府県補助金)	29,524			
(うち他会計補助・負担金)	1,839,114			
(うち長期前受金戻入)	320,618			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	17,357			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,599,320			
2 経常費用	13,595,394			
(1) 医業費用	13,085,000			
職員給与費	7,835,864	70.0	59.4	57.2
材料費	2,956,999	26.4	26.1	28.0
(うち薬品費)	1,527,789	13.6	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,353,681	12.1	11.8	12.7
減価償却費	485,042	4.3	8.7	8.0
経費	1,732,445	15.5	22.1	19.0
(うち委託料)	946,964	8.5	11.7	10.0
研究研修費	52,682			
資産減耗費	21,968			
(2) 医業外費用	510,394			
(うち支払利息)	22,362	0.2	1.0	1.0
(3) 特別損失	3,926			
経常損益	-143,617			
純損益	-130,186			
累積欠損金	3,487,165			
経常収支比率	98.9		103.3	103.2
医業収支比率	85.6		85.5	88.6
修正医業収支比率	82.4		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	16.8		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	20.2		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	16.8		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	82.3		91.9	93.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	211,468,187
1 固定資産	181,143,849
(1) 有形固定資産	167,605,426
(2) 無形固定資産	52,731
(3) 投資その他の資産	13,485,692
2 流動資産	30,324,338
(1) 現金及び預金	2,404,041
(2) 未収金及び未収収益	26,957,359
(3) 貸倒引当金( )	37,681
(4) 貯蔵品	635,696
3 繰延資産	-
負債合計	222,684,609
1 固定負債	165,960,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,561,336
(2) その他の企業債	5,302,136
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,096,862
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	31,551,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,661,531
(2) その他の企業債	858,336
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,335,000
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,898,652
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,172,612
(1) 長期前受金	25,172,612
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-11,216,422
1 資本金	22,151,888
2 剰余金	-33,469,305
(1) 資本剰余金	6,685,164
(2) 利益剰余金	-40,154,469
負債・資本合計	211,468,187
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	11,216,422
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,131,133	2,261,113
資本勘定繰入	411,597	411,597
計	1,542,730	2,672,710

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 加古川医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,005 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	345	62.8	52.6	44.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	15.4	31.4	66.9
計	353	61.7	52.1	44.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	10.8	10.5

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,648,172,795	
標準財政規模(千円)	1,101,386,098	
財政力指数	0.61217	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	326.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,758,392			
1 経常収益	15,744,892			
(1) 医業収益	10,403,374			
(うち修正医業収益)	10,045,629			
入院収益	6,192,723			
外来収益	3,665,481			
診療収入計	9,858,204			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	545,170			
(うち他会計負担金)	357,745			
(2) 医業外収益	5,341,518			
(うち国・都道府県補助金)	275,845			
(うち他会計補助・負担金)	4,096,865			
(うち長期前受金戻入)	908,093			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,500			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,387,769			
2 経常費用	14,387,495			
(1) 医業費用	13,585,728			
職員給与費	7,085,401	68.1	59.4	59.0
材料費	3,082,856	29.6	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,610,388	15.5	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,413,694	13.6	11.8	11.2
減価償却費	1,377,206	13.2	8.7	8.6
経費	1,993,810	19.2	22.1	21.3
(うち委託料)	1,350,939	13.0	11.7	11.6
研究研修費	34,007			
資産減耗費	12,448			
(2) 医業外費用	801,767			
(うち支払利息)	205,605	2.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	274			
経常損益	1,357,397			
純損益	1,370,623			
累積欠損金	5,980,894			
経常収支比率	109.4		103.3	104.8
医業収支比率	76.6		85.5	87.0
修正医業収支比率	73.9		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	28.3		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	42.8		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	28.3		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	78.5		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	211,468,187
1 固定資産	181,143,849
(1) 有形固定資産	167,605,426
(2) 無形固定資産	52,731
(3) 投資その他の資産	13,485,692
2 流動資産	30,324,338
(1) 現金及び預金	2,404,041
(2) 未収金及び未収収益	26,957,359
(3) 貸倒引当金( )	37,681
(4) 貯蔵品	635,696
3 繰延資産	-
負債合計	222,684,609
1 固定負債	165,960,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,561,336
(2) その他の企業債	5,302,136
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,096,862
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	31,551,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,661,531
(2) その他の企業債	858,336
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,335,000
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,898,652
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,172,612
(1) 長期前受金	25,172,612
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-11,216,422
1 資本金	22,151,888
2 剰余金	-33,469,305
(1) 資本剰余金	6,685,164
(2) 利益剰余金	-40,154,469
負債・資本合計	211,468,187
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	11,216,422
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,367,991	4,454,610
資本勘定繰入	754,427	754,427
計	2,122,418	5,209,037

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 淡路医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	35,005 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救急が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	377	80.1	76.1	75.2
療養	-	-	-	-
結核	15	32.9	37.0	33.3
精神	45	55.6	46.3	47.8
感染症	4	14.1	20.4	29.4
計	441	75.4	71.2	70.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	12.5	11.1

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,648,172,795	
標準財政規模(千円)	1,101,386,098	
財政力指数	0.61217	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	326.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,975,349			
1 経常収益	15,973,016			
(1) 医業収益	13,239,488			
(うち修正医業収益)	12,861,300			
入院収益	9,406,643			
外来収益	3,282,198			
診療収入計	12,688,841			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	550,647			
(うち他会計負担金)	378,188			
(2) 医業外収益	2,733,528			
(うち国・都道府県補助金)	62,118			
(うち他会計補助・負担金)	1,936,958			
(うち長期前受金戻入)	636,887			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,333			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,887,129			
2 経常費用	15,882,079			
(1) 医業費用	15,016,983			
職員給与費	7,845,934	59.3	59.4	57.2
材料費	3,887,695	29.4	26.1	28.0
(うち薬品費)	1,477,351	11.2	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,381,741	18.0	11.8	12.7
減価償却費	1,069,069	8.1	8.7	8.0
経費	2,157,126	16.3	22.1	19.0
(うち委託料)	1,287,522	9.7	11.7	10.0
研究研修費	36,536			
資産減耗費	20,623			
(2) 医業外費用	865,096			
(うち支払利息)	161,176	1.2	1.0	1.0
(3) 特別損失	5,050			
経常損益	90,937			
純損益	88,220			
累積欠損金	1,343,715			
経常収支比率	100.6		103.3	103.2
医業収支比率	88.2		85.5	88.6
修正医業収支比率	85.6		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	14.5		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	17.5		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	14.5		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	86.0		91.9	93.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	211,468,187
1 固定資産	181,143,849
(1) 有形固定資産	167,605,426
(2) 無形固定資産	52,731
(3) 投資その他の資産	13,485,692
2 流動資産	30,324,338
(1) 現金及び預金	2,404,041
(2) 未収金及び未収収益	26,957,359
(3) 貸倒引当金( )	37,681
(4) 貯蔵品	635,696
3 繰延資産	-
負債合計	222,684,609
1 固定負債	165,960,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,561,336
(2) その他の企業債	5,302,136
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,096,862
(7) リース債務	-
2 流動負債	31,551,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,661,531
(2) その他の企業債	858,336
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,335,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,898,652
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,172,612
(1) 長期前受金	25,172,612
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-11,216,422
1 資本金	22,151,888
2 剰余金	-33,469,305
(1) 資本剰余金	6,685,164
(2) 利益剰余金	-40,154,469
負債・資本合計	211,468,187
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	11,216,422
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,697,512	2,315,146
資本勘定繰入	1,049,456	1,049,456
計	2,746,968	3,364,602

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			兵庫県
市町村・組合名			
病院名	ひょうごこころの医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	22,805 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	6	指定病院の状況	臨
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	462	32.8	25.4	23.9
感染症	-	-	-	-
計	462	32.8	25.4	23.9
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,648,172,795	
標準財政規模(千円)	1,101,386,098	
財政力指数	0.61217	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	326.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,513,837			
1 経常収益	4,503,767			
(1) 医業収益	2,243,755			
(うち修正医業収益)	1,897,055			
入院収益	1,539,987			
外来収益	342,049			
診療収入計	1,882,036			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	361,719			
(うち他会計負担金)	346,700			
(2) 医業外収益	2,260,012			
(うち国・都道府県補助金)	41,458			
(うち他会計補助・負担金)	1,928,204			
(うち長期前受金戻入)	263,998			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,070			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,338,725			
2 経常費用	4,334,023			
(1) 医業費用	4,171,171			
職員給与費	2,972,767	132.5	59.4	105.1
材料費	170,113	7.6	26.1	9.8
(うち薬品費)	73,691	3.3	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	46,204	2.1	11.8	1.6
減価償却費	422,509	18.8	8.7	12.8
経費	590,175	26.3	22.1	35.3
(うち委託料)	306,572	13.7	11.7	17.0
研究研修費	11,342			
資産減耗費	4,265			
(2) 医業外費用	162,852			
(うち支払利息)	65,229	2.9	1.0	2.4
(3) 特別損失	4,702			
経常損益	169,744			
純損益	175,112			
累積欠損金	12,704,626			
経常収支比率	103.9		103.3	101.8
医業収支比率	53.8		85.5	61.1
修正医業収支比率	45.5		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	50.5		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	101.4		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	50.4		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	51.4		91.9	68.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	211,468,187
1 固定資産	181,143,849
(1) 有形固定資産	167,605,426
(2) 無形固定資産	52,731
(3) 投資その他の資産	13,485,692
2 流動資産	30,324,338
(1) 現金及び預金	2,404,041
(2) 未収金及び未収収益	26,957,359
(3) 貸倒引当金( )	37,681
(4) 貯蔵品	635,696
3 繰延資産	-
負債合計	222,684,609
1 固定負債	165,960,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,561,336
(2) その他の企業債	5,302,136
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,096,862
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	31,551,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,661,531
(2) その他の企業債	858,336
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,335,000
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,898,652
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,172,612
(1) 長期前受金	25,172,612
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-11,216,422
1 資本金	22,151,888
2 剰余金	-33,469,305
(1) 資本剰余金	6,685,164
(2) 利益剰余金	-40,154,469
負債・資本合計	211,468,187
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	11,216,422
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,719,103	2,274,904
資本勘定繰入	739,691	739,691
計	2,458,794	3,014,595

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名			
病院名	丹波医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	26,679 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	316	80.5	67.7	63.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	57.7	44.3	49.7
計	320	80.2	67.4	63.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.6	12.0	12.5

設立団体の状況	
人口(人)	5,465,002
決算規模(千円)	2,648,172,795
標準財政規模(千円)	1,101,386,098
財政力指数	0.61217
経常収支比率(%)	98.7
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 15.2 326.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,753,488			
1 経常収益	10,751,739			
(1) 医業収益	8,228,246			
(うち修正医業収益)	7,900,648			
入院収益	5,337,727			
外来収益	2,194,401			
診療収入計	7,532,128			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	696,118			
(うち他会計負担金)	327,598			
(2) 医業外収益	2,523,493			
(うち国・都道府県補助金)	58,593			
(うち他会計補助・負担金)	1,479,381			
(うち長期前受金戻入)	837,825			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,749			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,943,623			
2 経常費用	10,860,330			
(1) 医業費用	10,103,715			
職員給与費	5,269,398	64.0	59.4	59.0
材料費	1,659,589	20.2	26.1	25.6
(うち薬品費)	801,745	9.7	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	837,197	10.2	11.8	11.2
減価償却費	1,129,898	13.7	8.7	8.6
経費	2,020,219	24.6	22.1	21.3
(うち委託料)	1,429,235	17.4	11.7	11.6
研究研修費	22,910			
資産減耗費	1,701			
(2) 医業外費用	756,615			
(うち支払利息)	45,361	0.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	2,083,293			
経常損益	-108,591			
純損益	-2,190,135			
累積欠損金	16,109,978			
経常収支比率	99.0		103.3	104.8
医業収支比率	81.4		85.5	87.0
修正医業収支比率	78.2		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	16.8		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	22.0		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	16.8		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	82.4		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	211,468,187
1 固定資産	181,143,849
(1) 有形固定資産	167,605,426
(2) 無形固定資産	52,731
(3) 投資その他の資産	13,485,692
2 流動資産	30,324,338
(1) 現金及び預金	2,404,041
(2) 未収金及び未収収益	26,957,359
(3) 貸倒引当金( )	37,681
(4) 貯蔵品	635,696
3 繰延資産	-
負債合計	222,684,609
1 固定負債	165,960,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,561,336
(2) その他の企業債	5,302,136
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,096,862
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	31,551,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,661,531
(2) その他の企業債	858,336
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,335,000
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,898,652
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,172,612
(1) 長期前受金	25,172,612
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-11,216,422
1 資本金	22,151,888
2 剰余金	-33,469,305
(1) 資本剰余金	6,685,164
(2) 利益剰余金	-40,154,469
負債・資本合計	211,468,187
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	11,216,422
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	894,604	1,806,979
資本勘定繰入	249,577	249,577
計	1,144,181	2,056,556

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	41,324 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救 地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	290	78.2	76.5	76.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	290	78.2	76.5	76.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.1	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,648,172,795	
標準財政規模(千円)	1,101,386,098	
財政力指数	0.61217	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	326.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,376,582			
1 経常収益	14,374,584			
(1) 医業収益	11,172,268			
(うち修正医業収益)	10,781,341			
入院収益	8,707,954			
外来収益	1,951,180			
診療収入計	10,659,134			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	513,134			
(うち他会計負担金)	390,927			
(2) 医業外収益	3,202,316			
(うち国・都道府県補助金)	209,751			
(うち他会計補助・負担金)	2,299,116			
(うち長期前受金戻入)	624,011			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,998			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,431,321			
2 経常費用	14,424,063			
(1) 医業費用	13,854,830			
職員給与費	8,370,568	74.9	59.4	63.7
材料費	2,254,913	20.2	26.1	21.0
(うち薬品費)	1,080,476	9.7	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,111,657	10.0	11.8	10.1
減価償却費	1,055,128	9.4	8.7	9.7
経費	2,116,327	18.9	22.1	28.9
(うち委託料)	1,084,154	9.7	11.7	13.6
研究研修費	48,672			
資産減耗費	9,222			
(2) 医業外費用	569,233			
(うち支払利息)	66,923	0.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	7,258			
経常損	-49,479			
純損	-54,739			
累積欠損金	10,493,727			
経常収支比率	99.7		103.3	101.8
医業収支比率	80.6		85.5	80.8
修正医業収支比率	77.8		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	18.7		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	24.1		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	18.7		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	81.0		91.9	89.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	211,468,187
1 固定資産	181,143,849
(1) 有形固定資産	167,605,426
(2) 無形固定資産	52,731
(3) 投資その他の資産	13,485,692
2 流動資産	30,324,338
(1) 現金及び預金	2,404,041
(2) 未収金及び未収収益	26,957,359
(3) 貸倒引当金( )	37,681
(4) 貯蔵品	635,696
3 繰延資産	-
負債合計	222,684,609
1 固定負債	165,960,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,561,336
(2) その他の企業債	5,302,136
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,096,862
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	31,551,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,661,531
(2) その他の企業債	858,336
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,335,000
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,898,652
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,172,612
(1) 長期前受金	25,172,612
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-11,216,422
1 資本金	22,151,888
2 剰余金	-33,469,305
(1) 資本剰余金	6,685,164
(2) 利益剰余金	-40,154,469
負債・資本合計	211,468,187
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	11,216,422
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,303,402	2,690,043
資本勘定繰入	397,642	397,642
計	2,701,044	3,087,685

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 がんセンター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,820 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	臨が		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	360	69.1	58.9	66.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	360	69.1	58.9	66.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.5	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,648,172,795	
標準財政規模(千円)	1,101,386,098	
財政力指数	0.61217	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	326.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,721,888			
1 経常収益	18,711,255			
(1) 医業収益	16,674,073			
(うち修正医業収益)	16,674,046			
入院収益	6,873,376			
外来収益	9,405,147			
診療収入計	16,278,523			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	395,550			
(うち他会計負担金)	27			
(2) 医業外収益	2,037,182			
(うち国・都道府県補助金)	47,522			
(うち他会計補助・負担金)	1,452,557			
(うち長期前受金戻入)	471,795			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,633			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,752,368			
2 経常費用	18,746,576			
(1) 医業費用	17,695,045			
職員給与費	6,799,438	40.8	59.4	59.0
材料費	7,905,194	47.4	26.1	25.6
(うち薬品費)	6,421,534	38.5	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,415,571	8.5	11.8	11.2
減価償却費	856,435	5.1	8.7	8.6
経費	2,029,284	12.2	22.1	21.3
(うち委託料)	1,327,999	8.0	11.7	11.6
研究研修費	103,169			
資産減耗費	1,525			
(2) 医業外費用	1,051,531			
(うち支払利息)	20,777	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	5,792			
損益	-35,321			
純損益	-30,480			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.8		103.3	104.8
医業収支比率	94.2		85.5	87.0
修正医業収支比率	94.2		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.7		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	7.8		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	92.1		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	211,468,187
1 固定資産	181,143,849
(1) 有形固定資産	167,605,426
(2) 無形固定資産	52,731
(3) 投資その他の資産	13,485,692
2 流動資産	30,324,338
(1) 現金及び預金	2,404,041
(2) 未収金及び未収収益	26,957,359
(3) 貸倒引当金( )	37,681
(4) 貯蔵品	635,696
3 繰延資産	-
負債合計	222,684,609
1 固定負債	165,960,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,561,336
(2) その他の企業債	5,302,136
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,096,862
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	31,551,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,661,531
(2) その他の企業債	858,336
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,335,000
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,898,652
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,172,612
(1) 長期前受金	25,172,612
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-11,216,422
1 資本金	22,151,888
2 剰余金	-33,469,305
(1) 資本剰余金	6,685,164
(2) 利益剰余金	-40,154,469
負債・資本合計	211,468,187
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	11,216,422
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	862,757	1,452,584
資本勘定繰入	479,493	479,493
計	1,342,250	1,932,077

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名			
病院名	はりま姫路総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	70,008 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	35	指定病院の状況	救臨がへ災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	720	65.3	65.9	63.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	16	47.6	-	-
感染症	-	-	-	-
計	736	64.9	65.9	63.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	13.7	13.2

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,648,172,795	
標準財政規模(千円)	1,101,386,098	
財政力指数	0.61217	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	326.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	26,237,145			
1 経常収益	24,007,780			
(1) 医業収益	21,219,611			
(うち修正医業収益)	20,861,950			
入院収益	16,545,154			
外来収益	3,973,851			
診療収入計	20,519,005			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	700,606			
(うち他会計負担金)	357,661			
(2) 医業外収益	2,788,169			
(うち国・都道府県補助金)	41,227			
(うち他会計補助・負担金)	2,038,123			
(うち長期前受金戻入)	478,656			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,229,365			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	33,726,456			
2 経常費用	28,183,849			
(1) 医業費用	26,741,632			
職員給与費	13,465,135	63.5	59.4	52.8
材料費	7,302,538	34.4	26.1	31.5
(うち薬品費)	1,794,539	8.5	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	5,487,725	25.9	11.8	13.9
減価償却費	650,164	3.1	8.7	7.7
経費	5,127,533	24.2	22.1	18.0
(うち委託料)	3,361,637	15.8	11.7	10.7
研究研修費	83,262			
資産減耗費	113,000			
(2) 医業外費用	1,442,217			
(うち支払利息)	157,905	0.7	1.0	0.9
(3) 特別損失	5,542,607			
経常損益	-4,176,069			
純損益	-7,489,311			
累積欠損金	-			
経常収支比率	85.2		103.3	102.8
医業収支比率	79.4		85.5	90.3
修正医業収支比率	78.0		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	10.0		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.3		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	9.1		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	76.7		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	211,468,187
1 固定資産	181,143,849
(1) 有形固定資産	167,605,426
(2) 無形固定資産	52,731
(3) 投資その他の資産	13,485,692
2 流動資産	30,324,338
(1) 現金及び預金	2,404,041
(2) 未収金及び未収収益	26,957,359
(3) 貸倒引当金( )	37,681
(4) 貯蔵品	635,696
3 繰延資産	-
負債合計	222,684,609
1 固定負債	165,960,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,561,336
(2) その他の企業債	5,302,136
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,096,862
(7) リース債務	-
2 流動負債	31,551,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,661,531
(2) その他の企業債	858,336
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,335,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,898,652
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,172,612
(1) 長期前受金	25,172,612
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-11,216,422
1 資本金	22,151,888
2 剰余金	-33,469,305
(1) 資本剰余金	6,685,164
(2) 利益剰余金	-40,154,469
負債・資本合計	211,468,187
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	11,216,422
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,747,931	2,395,784
資本勘定繰入	668,810	668,810
計	2,416,741	3,064,594

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 粒子線医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	22,541 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	1	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	47.8	46.2	50.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	47.8	46.2	50.3
平均在院日数(一般病床のみ)		32.1	33.4	36.6

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,648,172,795	
標準財政規模(千円)	1,101,386,098	
財政力指数	0.61217	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	326.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,697,258			
1 経常収益	2,697,221			
(1) 医業収益	1,485,127			
(うち修正医業収益)	1,485,123			
入院収益	655,230			
外来収益	823,113			
診療収入計	1,478,343			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	6,784			
(うち他会計負担金)	4			
(2) 医業外収益	1,212,094			
(うち国・都道府県補助金)	1,920			
(うち他会計補助・負担金)	538,155			
(うち長期前受金戻入)	659,594			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	37			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,146,096			
2 経常費用	4,145,901			
(1) 医業費用	3,626,819			
職員給与費	935,753	63.0	59.4	76.5
材料費	72,192	4.9	26.1	14.9
(うち薬品費)	15,869	1.1	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	55,807	3.8	11.8	6.4
減価償却費	1,034,491	69.7	8.7	11.5
経費	1,574,202	106.0	22.1	32.6
(うち委託料)	1,079,742	72.7	11.7	14.8
研究研修費	6,526			
資産減耗費	3,655			
(2) 医業外費用	519,082			
(うち支払利息)	223,987	15.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	195			
経常損益	-1,448,680			
純損益	-1,448,838			
累積欠損金	9,124,884			
経常収支比率	65.1		103.3	101.5
医業収支比率	40.9		85.5	73.2
修正医業収支比率	40.9		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	20.0		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	36.2		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	20.0		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	52.1		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	211,468,187
1 固定資産	181,143,849
(1) 有形固定資産	167,605,426
(2) 無形固定資産	52,731
(3) 投資その他の資産	13,485,692
2 流動資産	30,324,338
(1) 現金及び預金	2,404,041
(2) 未収金及び未収収益	26,957,359
(3) 貸倒引当金( )	37,681
(4) 貯蔵品	635,696
3 繰延資産	-
負債合計	222,684,609
1 固定負債	165,960,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,561,336
(2) その他の企業債	5,302,136
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,096,862
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	31,551,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,661,531
(2) その他の企業債	858,336
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,335,000
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,898,652
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,172,612
(1) 長期前受金	25,172,612
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-11,216,422
1 資本金	22,151,888
2 剰余金	-33,469,305
(1) 資本剰余金	6,685,164
(2) 利益剰余金	-40,154,469
負債・資本合計	211,468,187
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	11,216,422
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	534,909	538,159
資本勘定繰入	1,317,168	1,317,168
計	1,852,077	1,855,327

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 災害医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	6,313 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救臨 災		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	30	77.4	76.4	80.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	77.4	76.4	80.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	10.4	10.4

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,648,172,795	
標準財政規模(千円)	1,101,386,098	
財政力指数	0.61217	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	326.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	838,135			
1 経常収益	838,135			
(1) 医業収益	315,078			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	315,078			
(うち他会計負担金)	315,078			
(2) 医業外収益	523,057			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	365,581			
(うち長期前受金戻入)	157,295			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	838,135			
2 経常費用	838,135			
(1) 医業費用	744,675			
職員給与費	33,000	10.5	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	139,920	44.4	8.7	12.7
経費	569,243	180.7	22.1	45.1
(うち委託料)	568,508	180.4	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	2,512			
(2) 医業外費用	93,460			
(うち支払利息)	21,752	6.9	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.7
医業収支比率	42.3		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	81.2		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	216.0		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	81.2		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	18.8		91.9	67.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	211,468,187
1 固定資産	181,143,849
(1) 有形固定資産	167,605,426
(2) 無形固定資産	52,731
(3) 投資その他の資産	13,485,692
2 流動資産	30,324,338
(1) 現金及び預金	2,404,041
(2) 未収金及び未収収益	26,957,359
(3) 貸倒引当金( )	37,681
(4) 貯蔵品	635,696
3 繰延資産	-
負債合計	222,684,609
1 固定負債	165,960,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,561,336
(2) その他の企業債	5,302,136
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,096,862
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	31,551,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,661,531
(2) その他の企業債	858,336
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,335,000
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,898,652
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,172,612
(1) 長期前受金	25,172,612
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-11,216,422
1 資本金	22,151,888
2 剰余金	-33,469,305
(1) 資本剰余金	6,685,164
(2) 利益剰余金	-40,154,469
負債・資本合計	211,468,187
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	11,216,422
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	678,037	680,659
資本勘定繰入	179,580	179,580
計	857,617	860,239

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名					
リハビリテーション中央病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,570 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	13	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	520	46.0	43.3	43.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	520	46.0	43.3	43.6
平均在院日数(一般病床のみ)		70.5	70.5	70.5

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,648,172,795	
標準財政規模(千円)	1,101,386,098	
財政力指数	0.61217	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	326.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	715,469			
1 経常収益	715,468			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	715,468			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	322,132			
(うち長期前受金戻入)	388,789			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	715,469			
2 経常費用	715,469			
(1) 医業費用	663,505			
職員給与費	21,332	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	363,276	-	8.7	7.7
経費	272,288	-	22.1	18.0
(うち委託料)	272,288	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	6,609			
(2) 医業外費用	51,964			
(うち支払利息)	6,284	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-1			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	45.0		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	45.0		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	55.0		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	211,468,187
1 固定資産	181,143,849
(1) 有形固定資産	167,605,426
(2) 無形固定資産	52,731
(3) 投資その他の資産	13,485,692
2 流動資産	30,324,338
(1) 現金及び預金	2,404,041
(2) 未収金及び未収収益	26,957,359
(3) 貸倒引当金( )	37,681
(4) 貯蔵品	635,696
3 繰延資産	-
負債合計	222,684,609
1 固定負債	165,960,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,561,336
(2) その他の企業債	5,302,136
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,096,862
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	31,551,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,661,531
(2) その他の企業債	858,336
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,335,000
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,898,652
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,172,612
(1) 長期前受金	25,172,612
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-11,216,422
1 資本金	22,151,888
2 剰余金	-33,469,305
(1) 資本剰余金	6,685,164
(2) 利益剰余金	-40,154,469
負債・資本合計	211,468,187
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	11,216,422
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	318,984	322,132
資本勘定繰入	290,818	290,818
計	609,802	612,950

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名			
病院名	リハビリテーション西播磨病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	9,948 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	10	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	100	84.1	87.8	86.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	84.1	87.8	86.7
平均在院日数(一般病床のみ)		86.7	86.7	86.7

設立団体の状況	
人口(人)	5,465,002
決算規模(千円)	2,648,172,795
標準財政規模(千円)	1,101,386,098
財政力指数	0.61217
経常収支比率(%)	98.7
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 15.2 326.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	345,898			
1 経常収益	345,898			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	345,898			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	133,278			
(うち長期前受金戻入)	212,020			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	345,898			
2 経常費用	345,898			
(1) 医業費用	321,797			
職員給与費	10,886	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	201,895	-	8.7	10.2
経費	109,013	-	22.1	28.8
(うち委託料)	109,013	-	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	3			
(2) 医業外費用	24,101			
(うち支払利息)	3,139	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	-		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	38.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	38.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	61.5		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	211,468,187
1 固定資産	181,143,849
(1) 有形固定資産	167,605,426
(2) 無形固定資産	52,731
(3) 投資その他の資産	13,485,692
2 流動資産	30,324,338
(1) 現金及び預金	2,404,041
(2) 未収金及び未収収益	26,957,359
(3) 貸倒引当金( )	37,681
(4) 貯蔵品	635,696
3 繰延資産	-
負債合計	222,684,609
1 固定負債	165,960,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,561,336
(2) その他の企業債	5,302,136
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,096,862
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	31,551,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,661,531
(2) その他の企業債	858,336
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,335,000
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,898,652
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,172,612
(1) 長期前受金	25,172,612
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-11,216,422
1 資本金	22,151,888
2 剰余金	-33,469,305
(1) 資本剰余金	6,685,164
(2) 利益剰余金	-40,154,469
負債・資本合計	211,468,187
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	11,216,422
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	131,718	133,278
資本勘定繰入	106,098	106,098
計	237,816	239,376

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名			
病院名 県立西宮病院と市立西宮中央病院との統合再編事業			
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	-
		類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	5,465,002
決算規模(千円)	2,648,172,795
標準財政規模(千円)	1,101,386,098
財政力指数	0.61217
経常収支比率(%)	98.7
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	-
材料費	-	-	26.1	-
(うち薬品費)	-	-	14.0	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	-
減価償却費	-	-	8.7	-
経費	-	-	22.1	-
(うち委託料)	-	-	11.7	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.0	-
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		103.3	95.9
医業収支比率	-		85.5	-
修正医業収支比率	-		82.8	-
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	99.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	-
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	99.7
実質収益対経常費用比率	-		91.9	0.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	211,468,187
1 固定資産	181,143,849
(1) 有形固定資産	167,605,426
(2) 無形固定資産	52,731
(3) 投資その他の資産	13,485,692
2 流動資産	30,324,338
(1) 現金及び預金	2,404,041
(2) 未収金及び未収収益	26,957,359
(3) 貸倒引当金( )	37,681
(4) 貯蔵品	635,696
3 繰延資産	-
負債合計	222,684,609
1 固定負債	165,960,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,561,336
(2) その他の企業債	5,302,136
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,096,862
(7) リース債務	-
2 流動負債	31,551,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,661,531
(2) その他の企業債	858,336
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,335,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,898,652
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,172,612
(1) 長期前受金	25,172,612
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-11,216,422
1 資本金	22,151,888
2 剰余金	-33,469,305
(1) 資本剰余金	6,685,164
(2) 利益剰余金	-40,154,469
負債・資本合計	211,468,187
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	11,216,422
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	10,167	10,167
計	10,167	10,167

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名			
病院名	県立がんセンター建替整備事業		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	-
		類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,648,172,795	
標準財政規模(千円)	1,101,386,098	
財政力指数	0.61217	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	326.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	-
材料費	-	-	26.1	-
(うち薬品費)	-	-	14.0	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	-
減価償却費	-	-	8.7	-
経費	-	-	22.1	-
(うち委託料)	-	-	11.7	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.0	-
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		103.3	95.9
医業収支比率	-		85.5	-
修正医業収支比率	-		82.8	-
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	99.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	-
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	99.7
実質収益対経常費用比率	-		91.9	0.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	211,468,187
1 固定資産	181,143,849
(1) 有形固定資産	167,605,426
(2) 無形固定資産	52,731
(3) 投資その他の資産	13,485,692
2 流動資産	30,324,338
(1) 現金及び預金	2,404,041
(2) 未収金及び未収収益	26,957,359
(3) 貸倒引当金( )	37,681
(4) 貯蔵品	635,696
3 繰延資産	-
負債合計	222,684,609
1 固定負債	165,960,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,561,336
(2) その他の企業債	5,302,136
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,096,862
(7) リース債務	-
2 流動負債	31,551,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,661,531
(2) その他の企業債	858,336
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,335,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,898,652
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,172,612
(1) 長期前受金	25,172,612
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-11,216,422
1 資本金	22,151,888
2 剰余金	-33,469,305
(1) 資本剰余金	6,685,164
(2) 利益剰余金	-40,154,469
負債・資本合計	211,468,187
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	11,216,422
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	560	560
計	560	560

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名 兵庫県	
市町村・組合名	神戸市		
病院名	中央市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,525,152	
決算規模(千円)	963,856,264	
標準財政規模(千円)	449,411,950	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	60.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	-	-	8.7	7.7
経費	-	-	22.1	18.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	-		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	神戸市		
病院名	西市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	1,525,152
決算規模(千円)	963,856,264
標準財政規模(千円)	449,411,950
財政力指数	0.77
経常収支比率(%)	97.1
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	59.0
材料費	-	-	26.1	25.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	-	-	8.7	8.6
経費	-	-	22.1	21.3
(うち委託料)	-	-	11.7	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		103.3	104.8
医業収支比率	-		85.5	87.0
修正医業収支比率	-		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	-		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	明石市		
病院名	市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	303,601
決算規模(千円)	126,526,263
標準財政規模(千円)	66,050,299
財政力指数	0.74
経常収支比率(%)	94.1
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,394			
1 経常収益	5,394			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	5,394			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,394			
2 経常費用	5,394			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	59.0
材料費	-	-	26.1	25.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	-	-	8.7	8.6
経費	-	-	22.1	21.3
(うち委託料)	-	-	11.7	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	5,394			
(うち支払利息)	5,394	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.8
医業収支比率	-		85.5	87.0
修正医業収支比率	-		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		西宮市			
病院名		中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,375 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	257	41.8	45.9	43.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	257	41.8	45.9	43.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.6	11.1

設立団体の状況		
人口(人)	485,587	
決算規模(千円)	200,150,332	
標準財政規模(千円)	101,589,657	
財政力指数	0.94	
経常収支比率(%)	96.6	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,434,261			
1 経常収益	6,412,483			
(1) 医業収益	4,553,098			
(うち修正医業収益)	4,299,576			
入院収益	2,496,302			
外来収益	1,566,765			
診療収入計	4,063,067			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	490,031			
(うち他会計負担金)	253,522			
(2) 医業外収益	1,859,385			
(うち国・都道府県補助金)	1,176,209			
(うち他会計補助・負担金)	627,595			
(うち長期前受金戻入)	27,706			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	21,778			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,427,991			
2 経常費用	6,387,562			
(1) 医業費用	6,152,839			
職員給与費	3,265,683	71.7	59.4	63.7
材料費	1,112,074	24.4	26.1	21.0
(うち薬品費)	660,004	14.5	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	446,993	9.8	11.8	10.1
減価償却費	417,797	9.2	8.7	9.7
経費	1,333,034	29.3	22.1	28.9
(うち委託料)	653,035	14.3	11.7	13.6
研究研修費	23,282			
資産減耗費	969			
(2) 医業外費用	234,723			
(うち支払利息)	3,451	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	40,429			
損益	24,921			
純損益	6,270			
累積欠損金	15,638,649			
経常収支比率	100.4		103.3	101.8
医業収支比率	74.0		85.5	80.8
修正医業収支比率	69.9		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	13.7		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	19.4		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	13.7		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	86.6		91.9	89.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,172,444
1 固定資産	4,113,621
(1) 有形固定資産	4,058,291
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	55,330
2 流動資産	2,058,823
(1) 現金及び預金	900,507
(2) 未収金及び未収収益	1,137,715
(3) 貸倒引当金( )	578
(4) 貯蔵品	21,179
3 繰延資産	-
負債合計	6,207,656
1 固定負債	4,890,923
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	370,528
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,495,456
(6) 引当金	1,024,939
(7) 一 負債	-
2 流動負債	1,112,250
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	218,161
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	5,300
(5) 引当金	163,413
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	696,448
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	204,483
(1) 長期前受金	614,779
(2) 長期前受金収益化累計額( )	410,296
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-35,212
1 資本	14,727,837
2 剰余金	-14,763,049
(1) 資本剰余金	875,600
(2) 利益剰余金	-15,638,649
負債・資本合計	6,172,444
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	35,212
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	880,824	881,117
資本勘定繰入	209,536	209,536
計	1,090,360	1,090,653

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	343.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		芦屋市			
病院名		芦屋病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,045 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	199	74.4	76.6	75.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	74.4	76.6	75.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.6	13.6	14.3

設立団体の状況		
人口(人)	93,922	
決算規模(千円)	45,686,492	
標準財政規模(千円)	24,848,512	
財政力指数	1.04	
経常収支比率(%)	94.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	67.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,986,002			
1 経常収益	5,975,787			
(1) 医業収益	4,857,057			
(うち修正医業収益)	4,577,726			
入院収益	3,005,744			
外来収益	1,239,907			
診療収入計	4,245,651			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	611,406			
(うち他会計負担金)	279,331			
(2) 医業外収益	1,118,730			
(うち国・都道府県補助金)	675,454			
(うち他会計補助・負担金)	366,442			
(うち長期前受金戻入)	12,864			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,215			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,843,812			
2 経常費用	5,811,438			
(1) 医業費用	5,542,012			
職員給与費	3,282,851	67.6	59.4	67.0
材料費	1,006,239	20.7	26.1	18.2
(うち薬品費)	608,787	12.5	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	364,622	7.5	11.8	9.4
減価償却費	401,081	8.3	8.7	10.2
経費	841,457	17.3	22.1	28.8
(うち委託料)	570,474	11.7	11.7	13.2
研究研修費	7,586			
資産減耗費	2,798			
(2) 医業外費用	269,426			
(うち支払利息)	82,564	1.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	32,374			
損益	164,349			
純損益	142,190			
累積欠損金	11,583,873			
経常収支比率	102.8		103.3	104.5
医業収支比率	87.6		85.5	80.1
修正医業収支比率	82.6		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	10.8		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	91.7		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,345,757
1 固定資産	4,110,868
(1) 有形固定資産	4,067,483
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	43,385
2 流動資産	1,234,889
(1) 現金及び預金	360,348
(2) 未収金及び未収収益	885,506
(3) 貸倒引当金( )	10,994
(4) 貯蔵品	29
3 繰延資産	-
負債合計	8,636,286
1 固定負債	7,116,303
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,000,992
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,258,400
(6) 引当金	856,911
(7) 一 時 借 入 金	-
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流動負債	1,447,265
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	441,336
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	359,800
(5) 引当金	188,201
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未払金及び未払費用	433,705
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	72,718
(1) 長期前受金	131,125
(2) 長期前受金収益化累計額( )	58,407
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-3,290,529
1 資本金	8,278,544
2 剰余金	-11,569,073
(1) 資本金剰余金	14,800
(2) 利益剰余金	-11,583,873
負債・資本合計	5,345,757
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	3,290,529
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,217,811
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	566,916	645,773
資本勘定繰入	218,200	219,908
計	785,116	865,681

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	238.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		伊丹市			
病院名		伊丹病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	29,069 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	33	指定病院の状況	救臨が地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	414	69.5	68.7	71.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	414	69.5	68.7	71.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	9.8	10.4

設立団体の状況		
人口(人)	198,138	
決算規模(千円)	91,861,306	
標準財政規模(千円)	44,533,471	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,641,919			
1 経常収益	14,641,919			
(1) 医業収益	12,507,453			
(うち修正医業収益)	12,211,035			
入院収益	8,018,655			
外来収益	3,909,277			
診療収入計	11,927,932			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	579,521			
(うち他会計負担金)	296,418			
(2) 医業外収益	2,134,466			
(うち国・都道府県補助金)	1,184,227			
(うち他会計補助・負担金)	519,718			
(うち長期前受金戻入)	304,470			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,323,872			
2 経常費用	14,294,407			
(1) 医業費用	13,643,634			
職員給与費	6,592,344	52.7	59.4	57.2
材料費	3,956,586	31.6	26.1	28.0
(うち薬品費)	1,696,362	13.6	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,200,594	17.6	11.8	12.7
減価償却費	544,336	4.4	8.7	8.0
経費	2,505,394	20.0	22.1	19.0
(うち委託料)	1,218,405	9.7	11.7	10.0
研究研修費	43,222			
資産減耗費	1,752			
(2) 医業外費用	650,773			
(うち支払利息)	28,859	0.2	1.0	1.0
(3) 特別損失	29,465			
損益	347,512			
純損益	318,047			
累積欠損金	3,106,840			
経常収支比率	102.4		103.3	103.2
医業収支比率	91.7		85.5	88.6
修正医業収支比率	89.5		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	5.6		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.5		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	5.6		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	96.7		91.9	93.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	22,400,695
1 固定資産	14,703,704
(1) 有形固定資産	11,840,721
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	2,862,983
2 流動資産	7,696,991
(1) 現金及び預金	3,378,334
(2) 未収金及び未収収益	4,282,544
(3) 貸倒引当金( )	5,165
(4) 貯蔵品	41,278
3 繰延資産	-
負債合計	17,188,974
1 固定負債	7,841,215
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,567,624
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,273,591
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	5,194,255
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	437,996
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	399,070
(6) リ一ス債務	4,006
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,236,763
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,153,504
(1) 長期前受金	12,682,121
(2) 長期前受金収益化累計額( )	8,528,617
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	5,211,721
1 資本金	3,237,565
2 剰余金	1,974,156
(1) 資本剰余金	5,080,996
(2) 利益剰余金	-3,106,840
負債・資本合計	22,400,695
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	816,136	816,136
資本勘定繰入	2,602,640	2,606,858
計	3,418,776	3,422,994

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		相生市			
病院名		相生市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,424 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	55	41.8	42.6	49.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	41.8	42.6	49.6
平均在院日数(一般病床のみ)		26.0	25.0	22.6

設立団体の状況		
人口(人)	28,355	
決算規模(千円)	14,292,319	
標準財政規模(千円)	8,387,020	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	99.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.6
	将来負担比率(%)	57.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	627,546			
1 経常収益	627,546			
(1) 医業収益	521,674			
(うち修正医業収益)	517,594			
入院収益	269,969			
外来収益	217,867			
診療収入計	487,836			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	33,838			
(うち他会計負担金)	4,080			
(2) 医業外収益	105,872			
(うち国・都道府県補助金)	10,086			
(うち他会計補助・負担金)	56,344			
(うち長期前受金戻入)	23,010			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	654,349			
2 経常費用	652,878			
(1) 医業費用	622,908			
職員給与費	292,920	56.2	59.4	76.5
材料費	135,965	26.1	26.1	14.9
(うち薬品費)	118,555	22.7	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,750	3.2	11.8	6.4
減価償却費	34,437	6.6	8.7	11.5
経費	159,268	30.5	22.1	32.6
(うち委託料)	64,823	12.4	11.7	14.8
研究研修費	318			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	29,970			
(うち支払利息)	85	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	1,471			
損益	経常損益	-25,332		
	純損益	-26,803		
累積欠損金	536,607			
経常収支比率	96.1		103.3	101.5
医業収支比率	83.7		85.5	73.2
修正医業収支比率	83.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.6		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.6		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	9.6		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	86.9		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	437,986
1 固定資産	294,375
(1) 有形固定資産	294,329
(2) 無形固定資産	31
(3) 投資その他の資産	15
2 流動資産	143,611
(1) 現金及び預金	59,583
(2) 未収金及び未収収益	74,663
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	9,365
3 繰延資産	-
負債合計	276,272
1 固定負債	28,832
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,957
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,875
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	94,430
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,790
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,400
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	57,240
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	153,010
(1) 長期前受金	837,414
(2) 長期前受金収益化累計額( )	684,404
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	161,714
1 資本金	320,370
2 剰余金	-158,656
(1) 資本金剰余金	377,951
(2) 利益剰余金	-536,607
負債・資本合計	437,986
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	60,424	60,424
資本勘定繰入	6,932	56,932
計	67,356	117,356

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	102.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		赤穂市			
病院名		赤穂市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	32,911 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	356	64.7	67.3	67.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	162.9	11.1	36.4
計	360	65.7	66.7	66.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.4	15.7	16.7

設立団体の状況		
人口(人)	45,892	
決算規模(千円)	23,155,223	
標準財政規模(千円)	13,228,596	
財政力指数	0.66	
経常収支比率(%)	91.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	80.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,555,130			
1 経常収益	9,552,456			
(1) 医業収益	8,020,689			
(うち修正医業収益)	7,940,063			
入院収益	5,148,279			
外来収益	2,444,836			
診療収入計	7,593,115			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	427,574			
(うち他会計負担金)	80,626			
(2) 医業外収益	1,531,767			
(うち国・都道府県補助金)	849,663			
(うち他会計補助・負担金)	621,621			
(うち長期前受金戻入)	23,953			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,674			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,306,146			
2 経常費用	9,300,722			
(1) 医業費用	8,738,271			
職員給与費	4,071,222	50.8	59.4	59.0
材料費	2,023,668	25.2	26.1	25.6
(うち薬品費)	932,638	11.6	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,024,812	12.8	11.8	11.2
減価償却費	709,243	8.8	8.7	8.6
経費	1,910,037	23.8	22.1	21.3
(うち委託料)	856,348	10.7	11.7	11.6
研究研修費	19,666			
資産減耗費	4,435			
(2) 医業外費用	562,451			
(うち支払利息)	87,647	1.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	5,424			
損益	251,734			
純損益	248,984			
累積欠損金	6,047,565			
経常収支比率	102.7		103.3	104.8
医業収支比率	91.8		85.5	87.0
修正医業収支比率	90.9		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.8		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	7.3		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	95.2		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,751,537
1 固定資産	11,493,242
(1) 有形固定資産	11,157,018
(2) 無形固定資産	2,160
(3) 投資その他の資産	334,064
2 流動資産	2,258,295
(1) 現金及び預金	864,578
(2) 未収金及び未収収益	1,351,209
(3) 貸倒引当金( )	7,398
(4) 貯蔵品	47,980
3 繰延資産	-
負債合計	10,869,398
1 固定負債	7,865,181
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,170,488
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	400,000
(6) 引当金	1,281,013
(7) 一ス債務	13,680
2 流動負債	2,728,814
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,119,987
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	254,747
(6) リ一ス債務	13,680
(7) 一時借入金	500,000
(8) 未払金及び未払費用	790,762
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	275,403
(1) 長期前受金	663,000
(2) 長期前受金収益化累計額( )	387,597
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,882,139
1 資本金	8,902,085
2 剰余金	-6,019,946
(1) 資本剰余金	27,619
(2) 利益剰余金	-6,047,565
負債・資本合計	13,751,537
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	412,247	702,247
資本勘定繰入	641,455	641,455
計	1,053,702	1,343,702

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	847,368	11.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	75.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	西脇市		
病院名	西脇病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	23,674 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	25	指定病院の状況	救臨がへ災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	320	80.5	83.8	89.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	320	80.5	83.8	89.6
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	16.5	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	38,673	
決算規模(千円)	21,246,100	
標準財政規模(千円)	11,852,105	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	2.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,819,541			
1 経常収益	8,808,832			
(1) 医業収益	7,116,943			
(うち修正医業収益)	7,065,492			
入院収益	5,080,686			
外来収益	1,829,255			
診療収入計	6,909,941			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	207,002			
(うち他会計負担金)	51,451			
(2) 医業外収益	1,691,889			
(うち国・都道府県補助金)	759,793			
(うち他会計補助・負担金)	514,063			
(うち長期前受金戻入)	366,630			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,709			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,865,578			
2 経常費用	8,830,234			
(1) 医業費用	8,645,729			
職員給与費	4,357,556	61.2	59.4	59.0
材料費	1,802,106	25.3	26.1	25.6
(うち薬品費)	886,769	12.5	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	915,337	12.9	11.8	11.2
減価償却費	624,075	8.8	8.7	8.6
経費	1,825,193	25.6	22.1	21.3
(うち委託料)	944,043	13.3	11.7	11.6
研究研修費	27,774			
資産減耗費	9,025			
(2) 医業外費用	184,505			
(うち支払利息)	134,505	1.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	35,344			
損益	経常損益			
	純損益	-46,037		
累積欠損金	1,962,825			
経常収支比率	99.8		103.3	104.8
医業収支比率	82.3		85.5	87.0
修正医業収支比率	81.7		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.4		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.9		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	6.4		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	93.4		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,504,720
1 固定資産	7,395,186
(1) 有形固定資産	7,124,843
(2) 無形固定資産	2,250
(3) 投資その他の資産	268,093
2 流動資産	3,109,534
(1) 現金及び預金	1,615,525
(2) 未収金及び未収収益	1,433,586
(3) 貸倒引当金( )	2,287
(4) 貯蔵品	61,989
3 繰延資産	-
負債合計	10,176,286
1 固定負債	8,451,763
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,530,596
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,921,167
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,414,446
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	595,611
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	217,435
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	487,865
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	310,077
(1) 長期前受金	4,656,444
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,346,367
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	328,434
1 資本金	1,163,767
2 剰余金	-835,333
(1) 資本剰余金	1,127,492
(2) 利益剰余金	-1,962,825
負債・資本合計	10,504,720
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	565,514	565,514
資本勘定繰入	434,486	455,511
計	1,000,000	1,021,025

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	宝塚市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I	訓力	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	31,903 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨	災地輪	
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	436	58.6	60.4	68.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	436	58.6	60.4	68.0
平均在院日数(一般病床のみ)		9.3	10.6	10.9

設立団体の状況		
人口(人)	226,432	
決算規模(千円)	89,536,890	
標準財政規模(千円)	47,022,371	
財政力指数	0.85	
経常収支比率(%)	93.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.6
	将来負担比率(%)	2.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,506,709			
1 経常収益	13,503,512			
(1) 医業収益	11,213,903			
(うち修正医業収益)	10,768,462			
入院収益	6,535,519			
外来収益	4,072,955			
診療収入計	10,608,474			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	605,429			
(うち他会計負担金)	445,441			
(2) 医業外収益	2,289,609			
(うち国・都道府県補助金)	1,157,749			
(うち他会計補助・負担金)	461,141			
(うち長期前受金戻入)	49,380			
(うち資本費繰入収益)	509,027			
(3) 特別利益	3,197			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,919,738			
2 経常費用	12,917,386			
(1) 医業費用	12,342,741			
職員給与費	6,521,042	58.2	59.4	57.2
材料費	2,793,758	24.9	26.1	28.0
(うち薬品費)	1,646,203	14.7	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,147,555	10.2	11.8	12.7
減価償却費	791,096	7.1	8.7	8.0
経費	2,170,181	19.4	22.1	19.0
(うち委託料)	1,176,849	10.5	11.7	10.0
研究研修費	29,143			
資産減耗費	37,521			
(2) 医業外費用	574,645			
(うち支払利息)	55,406	0.5	1.0	1.0
(3) 特別損失	2,352			
損益	586,126			
純損益	586,971			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.5		103.3	103.2
医業収支比率	90.9		85.5	88.6
修正医業収支比率	87.2		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.7		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	6.7		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	97.5		91.9	93.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,985,502
1 固定資産	11,998,853
(1) 有形固定資産	11,449,010
(2) 無形固定資産	1,487
(3) 投資その他の資産	548,356
2 流動資産	2,986,649
(1) 現金及び預金	499,540
(2) 未収金及び未収収益	2,345,536
(3) 貸倒引当金( )	1,132
(4) 貯蔵品	139,821
3 繰延資産	-
負債合計	10,255,615
1 固定負債	6,752,151
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,325,929
(2) その他の企業債	23,962
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,160,000
(6) 引当金	229,960
(7) 一ス債務	12,300
2 流動負債	3,192,498
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,038,276
(2) その他の企業債	1,971
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	406,880
(6) リ一ス債務	5,991
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,586,466
(9) 前受金及び前受収益	39,308
3 繰延収益	310,966
(1) 長期前受金	1,106,013
(2) 長期前受金収益化累計額( )	795,047
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	4,729,887
1 資本金	2,816,580
2 剰余金	1,913,307
(1) 資本剰余金	592,811
(2) 利益剰余金	1,320,496
負債・資本合計	14,985,502
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	899,235	906,582
資本勘定繰入	545,815	545,815
計	1,445,050	1,452,397

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	90,702	0.8
令和2年度	905,273	8.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	高砂市				
病院名	高砂市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,705 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	199	65.0	61.0	61.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	65.0	61.0	61.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	17.7	17.4

設立団体の状況		
人口(人)	87,722	
決算規模(千円)	41,578,969	
標準財政規模(千円)	21,676,947	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	61.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,192,226			
1 経常収益	5,192,226			
(1) 医業収益	4,032,705			
(うち修正医業収益)	3,852,705			
入院収益	2,151,594			
外来収益	1,525,027			
診療収入計	3,676,621			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	356,084			
(うち他会計負担金)	180,000			
(2) 医業外収益	1,159,521			
(うち国・都道府県補助金)	684,772			
(うち他会計補助・負担金)	180,336			
(うち長期前受金戻入)	261,833			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,979,047			
2 経常費用	4,979,047			
(1) 医業費用	4,786,780			
職員給与費	2,821,528	70.0	59.4	67.0
材料費	539,644	13.4	26.1	18.2
(うち薬品費)	198,237	4.9	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	306,149	7.6	11.8	9.4
減価償却費	370,454	9.2	8.7	10.2
経費	1,041,120	25.8	22.1	28.8
(うち委託料)	540,083	13.4	11.7	13.2
研究研修費	12,419			
資産減耗費	1,615			
(2) 医業外費用	192,267			
(うち支払利息)	3,145	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	213,179			
純損益	213,179			
累積欠損金	7,543,706			
経常収支比率	104.3		103.3	104.5
医業収支比率	84.2		85.5	80.1
修正医業収支比率	80.5		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	6.9		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	97.0		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,685,079
1 固定資産	5,122,443
(1) 有形固定資産	5,046,150
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	76,293
2 流動資産	1,562,636
(1) 現金及び預金	835,323
(2) 未収金及び未収収益	722,326
(3) 貸倒引当金( )	4,400
(4) 貯蔵品	9,387
3 繰延資産	-
負債合計	3,568,827
1 固定負債	1,875,851
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	347,638
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,408,544
(7) 一ス債務	119,669
2 流動負債	586,205
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	72,290
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	179,652
(6) リ一ス債務	43,287
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	268,077
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,106,771
(1) 長期前受金	3,171,253
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,064,482
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,116,252
1 資本金	10,659,958
2 剰余金	-7,543,706
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-7,543,706
負債・資本合計	6,685,079
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	360,336	360,336
資本勘定繰入	156,515	162,945
計	516,851	523,281

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	187.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		川西市			
病院名		川西市立総合医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,619 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	405	64.2	48.3	52.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	405	64.2	48.3	52.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	152,321	
決算規模(千円)	61,425,978	
標準財政規模(千円)	32,665,504	
財政力指数	0.67	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	91.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,536,912			
1 経常収益	1,011,301			
(1) 医業収益	159,465			
(うち修正医業収益)	9,465			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	159,465			
(うち他会計負担金)	150,000			
(2) 医業外収益	851,836			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	530,103			
(うち長期前受金戻入)	28,879			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	525,611			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,530,051			
2 経常費用	732,210			
(1) 医業費用	572,958			
職員給与費	-	-	59.4	57.2
材料費	-	-	26.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	51,995	32.6	8.7	8.0
経費	519,861	326.0	22.1	19.0
(うち委託料)	25,671	16.1	11.7	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	1,102			
(2) 医業外費用	159,252			
(うち支払利息)	84,650	53.1	1.0	1.0
(3) 特別損失	797,841			
経常損益	279,091			
純損益	6,861			
累積欠損金	4,616,374			
経常収支比率	138.1		103.3	103.2
医業収支比率	27.8		85.5	88.6
修正医業収支比率	1.7		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	67.3		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	426.5		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	44.3		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	45.2		91.9	93.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	22,828,365
1 固定資産	21,030,350
(1) 有形固定資産	20,446,465
(2) 無形固定資産	549,370
(3) 投資その他の資産	34,515
2 流動資産	1,798,015
(1) 現金及び預金	20,982
(2) 未収金及び未収収益	1,777,100
(3) 貸倒引当金( )	67
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	25,262,053
1 固定負債	22,208,356
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,615,656
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	192,700
(5) その他の長期借入金	2,400,000
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,077,445
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	964,483
(2) その他の企業債	31,740
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	60,986
(8) 未払金及び未払費用	19,232
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,976,252
(1) 長期前受金	2,170,285
(2) 長期前受金収益化累計額( )	194,033
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,433,688
1 資本金	110,184
2 剰余金	-2,543,872
(1) 資本剰余金	2,072,502
(2) 利益剰余金	-4,616,374
負債・資本合計	22,828,365
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,433,688
資本不足額(繰延収益控除後)( )	457,436
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	337,125	680,103
資本勘定繰入	301,826	333,566
計	638,951	1,013,669

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	127,906	80.8
令和2年度	315,376	198.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2894.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	三田市				
病院名	三田市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	22,928 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	300	68.4	71.1	71.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	68.4	71.1	71.2
平均在院日数(一般病床のみ)		9.3	9.4	9.5

設立団体の状況		
人口(人)	109,238	
決算規模(千円)	41,285,040	
標準財政規模(千円)	23,346,189	
財政力指数	0.85	
経常収支比率(%)	94.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,844,363			
1 経常収益	9,760,165			
(1) 医業収益	7,919,534			
(うち修正医業収益)	7,540,633			
入院収益	5,299,335			
外来収益	2,081,684			
診療収入計	7,381,019			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	538,515			
(うち他会計負担金)	378,901			
(2) 医業外収益	1,840,631			
(うち国・都道府県補助金)	999,933			
(うち他会計補助・負担金)	577,532			
(うち長期前受金戻入)	173,831			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	84,198			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,300,457			
2 経常費用	9,149,862			
(1) 医業費用	8,720,804			
職員給与費	4,666,508	58.9	59.4	59.0
材料費	1,912,209	24.1	26.1	25.6
(うち薬品費)	721,719	9.1	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,183,002	14.9	11.8	11.2
減価償却費	445,641	5.6	8.7	8.6
経費	1,673,219	21.1	22.1	21.3
(うち委託料)	833,815	10.5	11.7	11.6
研究研修費	15,392			
資産減耗費	7,835			
(2) 医業外費用	429,058			
(うち支払利息)	89,117	1.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	150,595			
損益	610,303			
純損益	543,906			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.7		103.3	104.8
医業収支比率	90.8		85.5	87.0
修正医業収支比率	86.5		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.1		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	9.7		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	96.2		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,536,431
1 固定資産	9,251,212
(1) 有形固定資産	8,947,784
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	303,428
2 流動資産	3,285,219
(1) 現金及び預金	1,508,883
(2) 未収金及び未収収益	1,697,840
(3) 貸倒引当金( )	3,244
(4) 貯蔵品	70,136
3 繰延資産	-
負債合計	8,018,840
1 固定負債	1,488,374
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,488,374
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,114,331
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,251,136
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	282,699
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	530,832
(9) 前受金及び前受収益	10,405
3 繰延収益	4,416,135
(1) 長期前受金	13,448,981
(2) 長期前受金収益化累計額( )	9,032,846
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	4,517,591
1 資本金	793,700
2 剰余金	3,723,891
(1) 資本金剰余金	2,703,957
(2) 利益剰余金	1,019,934
負債・資本合計	12,536,431
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	795,930	956,433
資本勘定繰入	742,892	742,892
計	1,538,822	1,699,325

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	加西市				
病院名	加西病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,166 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨感 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	193	85.1	92.3	94.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	14.3	18.2	51.1
計	199	83.0	90.1	92.7
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	15.2	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	42,700	
決算規模(千円)	27,192,475	
標準財政規模(千円)	12,042,910	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,983,372			
1 経常収益	5,983,372			
(1) 医業収益	4,534,353			
(うち修正医業収益)	4,310,438			
入院収益	2,842,496			
外来収益	1,285,239			
診療収入計	4,127,735			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	406,618			
(うち他会計負担金)	223,915			
(2) 医業外収益	1,449,019			
(うち国・都道府県補助金)	1,058,687			
(うち他会計補助・負担金)	340,078			
(うち長期前受金戻入)	18,576			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,072,581			
2 経常費用	5,068,349			
(1) 医業費用	4,876,255			
職員給与費	2,743,142	60.5	59.4	67.0
材料費	796,343	17.6	26.1	18.2
(うち薬品費)	336,192	7.4	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	418,811	9.2	11.8	9.4
減価償却費	237,667	5.2	8.7	10.2
経費	1,079,215	23.8	22.1	28.8
(うち委託料)	473,410	10.4	11.7	13.2
研究研修費	13,372			
資産減耗費	6,516			
(2) 医業外費用	192,094			
(うち支払利息)	26,036	0.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	4,232			
損益	915,023			
純損益	910,791			
累積欠損金	4,634,537			
経常収支比率	118.1		103.3	104.5
医業収支比率	93.0		85.5	80.1
修正医業収支比率	88.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	9.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.4		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	9.4		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	106.9		91.9	88.8

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,483,476
1 固定資産	2,587,933
(1) 有形固定資産	2,537,636
(2) 無形固定資産	58
(3) 投資その他の資産	50,239
2 流動資産	2,895,543
(1) 現金及び預金	1,863,877
(2) 未収金及び未収収益	1,025,260
(3) 貸倒引当金( )	4,153
(4) 貯蔵品	9,923
3 繰延資産	-
負債合計	3,713,450
1 固定負債	2,577,685
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,582,357
(2) その他の企業債	241,400
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	747,040
(7) 一 負債	6,888
2 流動負債	971,571
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	304,355
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	194,630
(6) リ 一 負債	2,231
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	449,128
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	164,194
(1) 長期前受金	306,516
(2) 長期前受金収益化累計額( )	142,322
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,770,026
1 資本金	6,383,573
2 剰余金	-4,613,547
(1) 資本剰余金	19,877
(2) 利益剰余金	-4,633,424
負債・資本合計	5,483,476
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	563,993	563,993
資本勘定繰入	186,007	186,007
計	750,000	750,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	8,699	0.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	102.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	宍粟市				
病院名	公立宍粟総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	14,078 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救臨 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	199	55.0	56.5	63.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	55.0	56.5	63.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	13.3	14.2

設立団体の状況		
人口(人)	34,819	
決算規模(千円)	24,202,916	
標準財政規模(千円)	14,634,544	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.6
	将来負担比率(%)	65.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,939,083			
1 経常収益	4,939,083			
(1) 医業収益	3,431,303			
(うち修正医業収益)	3,326,625			
入院収益	1,943,166			
外来収益	1,276,760			
診療収入計	3,219,926			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	211,377			
(うち他会計負担金)	104,678			
(2) 医業外収益	1,507,780			
(うち国・都道府県補助金)	1,155,087			
(うち他会計補助・負担金)	177,186			
(うち長期前受金戻入)	134,597			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,172,471			
2 経常費用	4,074,471			
(1) 医業費用	3,917,928			
職員給与費	2,257,866	65.8	59.4	67.0
材料費	650,197	18.9	26.1	18.2
(うち薬品費)	230,729	6.7	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	381,296	11.1	11.8	9.4
減価償却費	226,301	6.6	8.7	10.2
経費	772,704	22.5	22.1	28.8
(うち委託料)	296,044	8.6	11.7	13.2
研究研修費	9,046			
資産減耗費	1,814			
(2) 医業外費用	156,543			
(うち支払利息)	26,110	0.8	1.0	1.1
(3) 特別損失	98,000			
損益	864,612			
純損益	766,612			
累積欠損金	-			
経常収支比率	121.2		103.3	104.5
医業収支比率	87.6		85.5	80.1
修正医業収支比率	84.9		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	5.7		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	8.2		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	5.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	114.3		91.9	88.8

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,369,097
1 固定資産	3,363,426
(1) 有形固定資産	3,127,042
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	236,384
2 流動資産	3,005,671
(1) 現金及び預金	2,279,713
(2) 未収金及び未収収益	717,128
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	8,830
3 繰延資産	-
負債合計	3,021,461
1 固定負債	1,532,712
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,532,712
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,011,421
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	340,670
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	139,622
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	511,372
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	477,328
(1) 長期前受金	922,887
(2) 長期前受金収益化累計額( )	445,559
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,347,636
1 資本金	836,278
2 剰余金	2,511,358
(1) 資本金剰余金	20,757
(2) 利益剰余金	2,490,601
負債・資本合計	6,369,097
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	281,236	281,864
資本勘定繰入	220,992	231,799
計	502,228	513,663

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	加東市				
病院名	加東市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,954 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	16	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	139	52.7	65.9	67.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	139	52.7	65.9	67.3
平均在院日数(一般病床のみ)		18.5	17.9	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	40,645	
決算規模(千円)	22,660,197	
標準財政規模(千円)	12,544,892	
財政力指数	0.64	
経常収支比率(%)	88.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,493,544			
1 経常収益	2,291,366			
(1) 医業収益	1,654,114			
(うち修正医業収益)	1,487,614			
入院収益	951,355			
外来収益	442,181			
診療収入計	1,393,536			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	260,578			
(うち他会計負担金)	166,500			
(2) 医業外収益	637,252			
(うち国・都道府県補助金)	33,456			
(うち他会計補助・負担金)	224,781			
(うち長期前受金戻入)	3,044			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	202,178			
(うち他会計繰入金)	200,000			
総費用	2,549,494			
2 経常費用	2,548,416			
(1) 医業費用	2,067,538			
職員給与費	1,346,982	81.4	59.4	67.0
材料費	229,535	13.9	26.1	18.2
(うち薬品費)	102,519	6.2	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	109,999	6.7	11.8	9.4
減価償却費	129,320	7.8	8.7	10.2
経費	347,772	21.0	22.1	28.8
(うち委託料)	199,139	12.0	11.7	13.2
研究研修費	3,452			
資産減耗費	10,477			
(2) 医業外費用	480,878			
(うち支払利息)	4,107	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	1,078			
損益	経常損益			
	純損益	-55,950		
累積欠損金	2,199,809			
経常収支比率	89.9		103.3	104.5
医業収支比率	80.0		85.5	80.1
修正医業収支比率	72.0		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	17.1		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	23.7		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	23.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	74.6		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,809,131
1 固定資産	1,866,779
(1) 有形固定資産	1,866,779
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	942,352
(1) 現金及び預金	649,903
(2) 未収金及び未収収益	278,193
(3) 貸倒引当金( )	184
(4) 貯蔵品	14,290
3 繰延資産	-
負債合計	1,207,328
1 固定負債	713,894
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	335,886
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	128,597
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	249,411
2 流動負債	456,963
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	73,046
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	42,857
(5) 引当金	114,450
(6) リース債務	83,882
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	137,498
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	36,471
(1) 長期前受金	61,537
(2) 長期前受金収益化累計額( )	25,066
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,601,803
1 資本金	3,781,830
2 剰余金	-2,180,027
(1) 資本剰余金	17,772
(2) 利益剰余金	-2,197,799
負債・資本合計	2,809,131
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	364,929	591,281
資本勘定繰入	70,132	75,439
計	435,061	666,720

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	133.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	たつの市		
病院名	市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	74,316
決算規模(千円)	38,308,178
標準財政規模(千円)	21,710,085
財政力指数	0.53
経常収支比率(%)	86.6
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,749			
1 経常収益	6,749			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	6,749			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,749			
2 経常費用	6,749			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	-	-	8.7	10.2
経費	-	-	22.1	28.8
(うち委託料)	-	-	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,749			
(うち支払利息)	6,749	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	-		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	88.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		神戸町			
病院名		公立神崎総合病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	15,998 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	20	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	140	74.8	73.8	68.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	74.8	73.8	68.4
平均在院日数(一般病床のみ)		23.6	23.1	23.1

設立団体の状況		
人口(人)	10,616	
決算規模(千円)	8,779,096	
標準財政規模(千円)	5,337,992	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	89.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	38.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,653,596			
1 経常収益	3,653,596			
(1) 医業収益	3,078,570			
(うち修正医業収益)	2,863,038			
入院収益	1,660,600			
外来収益	997,444			
診療収入計	2,658,044			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	420,526			
(うち他会計負担金)	215,532			
(2) 医業外収益	575,026			
(うち国・都道府県補助金)	292,133			
(うち他会計補助・負担金)	249,700			
(うち長期前受金戻入)	2,673			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,345,161			
2 経常費用	3,344,811			
(1) 医業費用	3,219,402			
職員給与費	2,067,000	67.1	59.4	67.0
材料費	376,397	12.2	26.1	18.2
(うち薬品費)	91,173	3.0	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	258,071	8.4	11.8	9.4
減価償却費	306,107	9.9	8.7	10.2
経費	451,202	14.7	22.1	28.8
(うち委託料)	158,604	5.2	11.7	13.2
研究研修費	6,696			
資産減耗費	12,000			
(2) 医業外費用	125,409			
(うち支払利息)	25,472	0.8	1.0	1.1
(3) 特別損失	350			
損益	308,785			
純損益	308,435			
累積欠損金	782,125			
経常収支比率	109.2		103.3	104.5
医業収支比率	95.6		85.5	80.1
修正医業収支比率	88.9		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	12.7		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	15.1		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	95.3		91.9	88.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,373,588
1 固定資産	4,740,563
(1) 有形固定資産	4,569,528
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	171,035
2 流動資産	1,633,025
(1) 現金及び預金	999,430
(2) 未収金及び未収収益	602,236
(3) 貸倒引当金( )	1,194
(4) 貯蔵品	32,552
3 繰延資産	-
負債合計	3,549,948
1 固定負債	3,088,333
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,848,696
(2) その他の企業債	239,637
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	440,707
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	137,498
(2) その他の企業債	10,363
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	108,870
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	166,465
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	20,908
(1) 長期前受金	51,242
(2) 長期前受金収益化累計額( )	30,334
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,823,640
1 資本金	3,605,765
2 剰余金	-782,125
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-782,125
負債・資本合計	6,373,588
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	692,900	465,232
資本勘定繰入	78,868	111,668
計	771,768	576,900

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		香美町			
病院名		公立香住病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,715 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	62.2	66.0	59.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	62.2	66.0	59.2
平均在院日数(一般病床のみ)		20.7	17.8	18.9

設立団体の状況		
人口(人)	16,064	
決算規模(千円)	14,837,020	
標準財政規模(千円)	8,281,197	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	90.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	36.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,320,319			
1 経常収益	1,320,167			
(1) 医業収益	888,853			
(うち修正医業収益)	838,340			
入院収益	334,625			
外来収益	457,993			
診療収入計	792,618			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	96,235			
(うち他会計負担金)	50,513			
(2) 医業外収益	431,314			
(うち国・都道府県補助金)	8,075			
(うち他会計補助・負担金)	200,838			
(うち長期前受金戻入)	1,100			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	152			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,345,590			
2 経常費用	1,341,207			
(1) 医業費用	1,053,114			
職員給与費	689,690	77.6	59.4	76.5
材料費	125,950	14.2	26.1	14.9
(うち薬品費)	44,785	5.0	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	80,447	9.1	11.8	6.4
減価償却費	60,053	6.8	8.7	11.5
経費	174,683	19.7	22.1	32.6
(うち委託料)	100,648	11.3	11.7	14.8
研究研修費	1,249			
資産減耗費	1,489			
(2) 医業外費用	288,093			
(うち支払利息)	2,188	0.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	4,383			
損益	経常損益			
	純損益	-25,271		
累積欠損金	3,002,515			
経常収支比率	98.4		103.3	101.5
医業収支比率	84.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	79.6		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.0		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	28.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	19.0		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	79.7		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,246,720
1 固定資産	1,954,378
(1) 有形固定資産	1,850,310
(2) 無形固定資産	471
(3) 投資その他の資産	103,597
2 流動資産	292,342
(1) 現金及び預金	108,419
(2) 未収金及び未収収益	177,193
(3) 貸倒引当金( )	125
(4) 貯蔵品	6,283
3 繰延資産	-
負債合計	1,276,531
1 固定負債	898,955
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	898,955
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	361,223
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	91,256
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,527
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	64,344
(9) 前受金及び前受収益	42,948
3 繰延収益	16,353
(1) 長期前受金	31,265
(2) 長期前受金収益化累計額( )	14,912
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	970,189
1 資本金	3,953,504
2 剰余金	-2,983,315
(1) 資本剰余金	19,200
(2) 利益剰余金	-3,002,515
負債・資本合計	2,246,720
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	191,612	251,351
資本勘定繰入	26,014	26,014
計	217,626	277,365

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	337.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	新温泉町				
病院名	浜坂病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,986 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	49	66.7	61.2	57.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	66.7	61.2	57.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	15.1	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	13,318	
決算規模(千円)	12,207,653	
標準財政規模(千円)	6,351,374	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	87.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	28.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,416,101			
1 経常収益	1,271,083			
(1) 医業収益	640,378			
(うち修正医業収益)	597,224			
入院収益	356,067			
外来収益	171,121			
診療収入計	527,188			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	113,190			
(うち他会計負担金)	43,154			
(2) 医業外収益	630,705			
(うち国・都道府県補助金)	51,941			
(うち他会計補助・負担金)	182,053			
(うち長期前受金戻入)	902			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	145,018			
(うち他会計繰入金)	135,000			
総費用	1,370,625			
2 経常費用	1,366,053			
(1) 医業費用	877,775			
職員給与費	516,433	80.6	59.4	87.7
材料費	68,263	10.7	26.1	13.6
(うち薬品費)	49,376	7.7	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,887	2.9	11.8	5.9
減価償却費	63,947	10.0	8.7	12.7
経費	226,224	35.3	22.1	45.1
(うち委託料)	68,788	10.7	11.7	21.3
研究研修費	2,339			
資産減耗費	569			
(2) 医業外費用	488,278			
(うち支払利息)	804	0.1	1.0	1.0
(3) 特別損失	4,572			
損益	-94,970			
純損益	45,476			
累積欠損金	3,886,091			
経常収支比率	93.0		103.3	101.7
医業収支比率	73.0		85.5	62.5
修正医業収支比率	68.0		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	17.7		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	35.2		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	25.4		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	76.6		91.9	67.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,668,935
1 固定資産	1,064,752
(1) 有形固定資産	1,055,985
(2) 無形固定資産	1,176
(3) 投資その他の資産	7,591
2 流動資産	604,183
(1) 現金及び預金	402,273
(2) 未収金及び未収収益	193,181
(3) 貸倒引当金( )	298
(4) 貯蔵品	9,027
3 繰延資産	-
負債合計	1,608,255
1 固定負債	1,277,980
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	403,934
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	472,440
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	401,606
(7) 一 負債	-
2 流動負債	310,774
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	85,346
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	99,910
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	51,127
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	67,771
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,501
(1) 長期前受金	150,771
(2) 長期前受金収益化累計額( )	131,270
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	60,680
1 資本金	3,860,630
2 剰余金	-3,799,950
(1) 資本剰余金	86,141
(2) 利益剰余金	-3,886,091
負債・資本合計	1,668,935
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	212,172	360,207
資本勘定繰入	32,016	197,690
計	244,188	557,897

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	606.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		公立豊岡病院組合			
病院名		公立豊岡病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	40,100 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	463	83.4	81.1	79.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	51	33.4	37.3	45.9
感染症	4	40.5	44.3	35.0
計	518	78.2	76.5	75.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	13.9	14.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,105,838			
1 経常収益	18,105,367			
(1) 医業収益	14,798,210			
(うち修正医業収益)	14,538,416			
入院収益	10,223,205			
外来収益	4,021,800			
診療収入計	14,245,005			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	553,205			
(うち他会計負担金)	259,794			
(2) 医業外収益	3,307,157			
(うち国・都道府県補助金)	1,042,380			
(うち他会計補助・負担金)	1,080,007			
(うち長期前受金戻入)	879,570			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	471			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,627,496			
2 経常費用	17,624,859			
(1) 医業費用	16,720,802			
職員給与費	9,011,576	60.9	59.4	52.8
材料費	4,114,127	27.8	26.1	31.5
(うち薬品費)	1,832,633	12.4	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,198,122	14.9	11.8	13.9
減価償却費	1,000,015	6.8	8.7	7.7
経費	2,536,775	17.1	22.1	18.0
(うち委託料)	1,457,369	9.8	11.7	10.7
研究研修費	49,088			
資産減耗費	9,221			
(2) 医業外費用	904,057			
(うち支払利息)	158,329	1.1	1.0	0.9
(3) 特別損失	2,637			
損益	480,508			
純損益	478,342			
累積欠損金	622,069			
経常収支比率	102.7		103.3	102.8
医業収支比率	88.5		85.5	90.3
修正医業収支比率	86.9		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.1		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	7.4		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	95.1		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	28,675,548
1 固定資産	22,554,718
(1) 有形固定資産	21,089,037
(2) 無形固定資産	28,764
(3) 投資その他の資産	1,436,917
2 流動資産	6,120,830
(1) 現金及び預金	2,530,559
(2) 未収金及び未収収益	3,449,645
(3) 貸倒引当金( )	1,667
(4) 貯蔵品	138,148
3 繰延資産	-
負債合計	30,951,611
1 固定負債	23,070,214
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,150,680
(2) その他の企業債	460,804
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	181,737
(6) 引当金	5,275,993
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,260,013
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,180,951
(2) その他の企業債	39,820
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	686,658
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,221,654
(9) 前受金及び前受収益	1,514
3 繰延収益	1,621,384
(1) 長期前受金	3,216,983
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,595,599
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,276,063
1 資本金	2,778,822
2 剰余金	-5,054,885
(1) 資本剰余金	1,289,540
(2) 利益剰余金	-6,344,425
負債・資本合計	28,675,548
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,276,063
資本不足額(繰延収益控除後)( )	654,679
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,339,801	1,339,801
資本勘定繰入	1,196,926	1,196,926
計	2,536,727	2,536,727

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		公立豊岡病院組合			
病院名		公立豊岡病院日高医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,368 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	63	46.7	42.6	43.7
療養	36	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	29.7	27.1	27.8
平均在院日数(一般病床のみ)		6.8	6.6	6.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,058,497			
1 経常収益	2,058,497			
(1) 医業収益	1,735,365			
(うち修正医業収益)	1,735,365			
入院収益	431,105			
外来収益	1,241,973			
診療収入計	1,673,078			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	62,287			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	323,132			
(うち国・都道府県補助金)	2,031			
(うち他会計補助・負担金)	192,295			
(うち長期前受金戻入)	63,473			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,071,834			
2 経常費用	2,071,834			
(1) 医業費用	1,922,102			
職員給与費	1,051,787	60.6	59.4	76.5
材料費	543,148	31.3	26.1	14.9
(うち薬品費)	331,533	19.1	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	203,626	11.7	11.8	6.4
減価償却費	83,852	4.8	8.7	11.5
経費	237,879	13.7	22.1	32.6
(うち委託料)	103,537	6.0	11.7	14.8
研究研修費	4,092			
資産減耗費	1,344			
(2) 医業外費用	149,732			
(うち支払利息)	10,014	0.6	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-13,337			
純損益	-13,337			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.4		103.3	101.5
医業収支比率	90.3		85.5	73.2
修正医業収支比率	90.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	9.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	90.1		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	28,675,548
1 固定資産	22,554,718
(1) 有形固定資産	21,089,037
(2) 無形固定資産	28,764
(3) 投資その他の資産	1,436,917
2 流動資産	6,120,830
(1) 現金及び預金	2,530,559
(2) 未収金及び未収収益	3,449,645
(3) 貸倒引当金( )	1,667
(4) 貯蔵品	138,148
3 繰延資産	-
負債合計	30,951,611
1 固定負債	23,070,214
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,150,680
(2) その他の企業債	460,804
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	181,737
(6) 引当金	5,275,993
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	6,260,013
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,180,951
(2) その他の企業債	39,820
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	686,658
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,221,654
(9) 前受金及び前受収益	1,514
3 繰延収益	1,621,384
(1) 長期前受金	3,216,983
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,595,599
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,276,063
1 資本金	2,778,822
2 剰余金	-5,054,885
(1) 資本剰余金	1,289,540
(2) 利益剰余金	-6,344,425
負債・資本合計	28,675,548
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,276,063
資本不足額(繰延収益控除後)( )	654,679
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	192,295	192,295
資本勘定繰入	63,359	63,359
計	255,654	255,654

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		公立豊岡病院組合			
病院名		公立豊岡病院出石医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,834 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	55	55.2	56.1	49.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	55.2	56.1	49.6
平均在院日数(一般病床のみ)		15.8	17.7	17.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	739,891			
1 経常収益	739,891			
(1) 医業収益	535,902			
(うち修正医業収益)	510,676			
入院収益	327,484			
外来収益	153,008			
診療収入計	480,492			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	55,410			
(うち他会計負担金)	25,226			
(2) 医業外収益	203,989			
(うち国・都道府県補助金)	8,595			
(うち他会計補助・負担金)	161,459			
(うち長期前受金戻入)	29,771			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	767,108			
2 経常費用	767,108			
(1) 医業費用	746,500			
職員給与費	560,187	104.5	59.4	76.5
材料費	61,230	11.4	26.1	14.9
(うち薬品費)	19,781	3.7	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,163	5.8	11.8	6.4
減価償却費	40,558	7.6	8.7	11.5
経費	81,067	15.1	22.1	32.6
(うち委託料)	34,220	6.4	11.7	14.8
研究研修費	1,517			
資産減耗費	1,941			
(2) 医業外費用	20,608			
(うち支払利息)	9,471	1.8	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-27,217			
純損益	-27,217			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.5		103.3	101.5
医業収支比率	71.8		85.5	73.2
修正医業収支比率	68.4		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	25.2		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	34.8		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	25.2		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	72.1		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	28,675,548
1 固定資産	22,554,718
(1) 有形固定資産	21,089,037
(2) 無形固定資産	28,764
(3) 投資その他の資産	1,436,917
2 流動資産	6,120,830
(1) 現金及び預金	2,530,559
(2) 未収金及び未収収益	3,449,645
(3) 貸倒引当金( )	1,667
(4) 貯蔵品	138,148
3 繰延資産	-
負債合計	30,951,611
1 固定負債	23,070,214
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,150,680
(2) その他の企業債	460,804
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	181,737
(6) 引当金	5,275,993
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	6,260,013
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,180,951
(2) その他の企業債	39,820
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	686,658
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,221,654
(9) 前受金及び前受収益	1,514
3 繰延収益	1,621,384
(1) 長期前受金	3,216,983
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,595,599
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,276,063
1 資本金	2,778,822
2 剰余金	-5,054,885
(1) 資本剰余金	1,289,540
(2) 利益剰余金	-6,344,425
負債・資本合計	28,675,548
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,276,063
資本不足額(繰延収益控除後)( )	654,679
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	186,685	186,685
資本勘定繰入	61,184	61,184
計	247,869	247,869

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	公立豊岡病院組合		
病院名	公立朝来医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	13,699 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	11	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	104	50.2	56.6	76.8
療養	45	52.2	59.5	3.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	149	50.8	57.5	54.3
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	16.4	15.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,967,515			
1 経常収益	1,869,571			
(1) 医業収益	1,409,665			
(うち修正医業収益)	1,300,940			
入院収益	944,290			
外来収益	318,045			
診療収入計	1,262,335			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	147,330			
(うち他会計負担金)	108,725			
(2) 医業外収益	459,906			
(うち国・都道府県補助金)	202,638			
(うち他会計補助・負担金)	114,498			
(うち長期前受金戻入)	135,506			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	97,944			
(うち他会計繰入金)	83,800			
総費用	2,386,049			
2 経常費用	2,079,290			
(1) 医業費用	1,987,567			
職員給与費	1,151,275	81.7	59.4	67.0
材料費	196,184	13.9	26.1	18.2
(うち薬品費)	66,463	4.7	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	105,146	7.5	11.8	9.4
減価償却費	236,393	16.8	8.7	10.2
経費	399,734	28.4	22.1	28.8
(うち委託料)	255,132	18.1	11.7	13.2
研究研修費	3,685			
資産減耗費	296			
(2) 医業外費用	91,723			
(うち支払利息)	36,038	2.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	306,759			
損益	-209,719			
純損益	-418,534			
累積欠損金	9,516,974			
経常収支比率	89.9		103.3	104.5
医業収支比率	70.9		85.5	80.1
修正医業収支比率	65.5		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.9		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	15.8		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	79.2		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	28,675,548
1 固定資産	22,554,718
(1) 有形固定資産	21,089,037
(2) 無形固定資産	28,764
(3) 投資その他の資産	1,436,917
2 流動資産	6,120,830
(1) 現金及び預金	2,530,559
(2) 未収金及び未収収益	3,449,645
(3) 貸倒引当金( )	1,667
(4) 貯蔵品	138,148
3 繰延資産	-
負債合計	30,951,611
1 固定負債	23,070,214
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,150,680
(2) その他の企業債	460,804
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	181,737
(6) 引当金	5,275,993
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,260,013
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,180,951
(2) その他の企業債	39,820
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	686,658
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,221,654
(9) 前受金及び前受収益	1,514
3 繰延収益	1,621,384
(1) 長期前受金	3,216,983
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,595,599
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,276,063
1 資本金	2,778,822
2 剰余金	-5,054,885
(1) 資本剰余金	1,289,540
(2) 利益剰余金	-6,344,425
負債・資本合計	28,675,548
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,276,063
資本不足額(繰延収益控除後)( )	654,679
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	307,023	307,023
資本勘定繰入	142,917	142,917
計	449,940	449,940

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		公立八鹿病院組合			
病院名		公立八鹿病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	35,498 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	338	68.6	65.5	69.9
療養	35	88.9	71.1	76.9
結核	7	11.2	4.5	15.1
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	69.4	64.9	69.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.9	17.5	19.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,743,637			
1 経常収益	8,738,614			
(1) 医業収益	6,107,375			
(うち修正医業収益)	5,998,652			
入院収益	4,219,493			
外来収益	1,513,589			
診療収入計	5,733,082			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	374,293			
(うち他会計負担金)	108,723			
(2) 医業外収益	2,631,239			
(うち国・都道府県補助金)	443,063			
(うち他会計補助・負担金)	419,812			
(うち長期前受金戻入)	662,420			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,023			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,664,553			
2 経常費用	8,661,769			
(1) 医業費用	7,264,281			
職員給与費	4,163,384	68.2	59.4	59.0
材料費	969,137	15.9	26.1	25.6
(うち薬品費)	427,912	7.0	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	466,367	7.6	11.8	11.2
減価償却費	839,220	13.7	8.7	8.6
経費	1,261,336	20.7	22.1	21.3
(うち委託料)	518,517	8.5	11.7	11.6
研究研修費	18,922			
資産減耗費	12,282			
(2) 医業外費用	1,397,488			
(うち支払利息)	86,535	1.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	2,784			
経常損益	76,845			
純損益	79,084			
累積欠損金	2,030,896			
経常収支比率	100.9		103.3	104.8
医業収支比率	84.1		85.5	87.0
修正医業収支比率	82.6		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.0		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.7		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	6.0		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	94.8		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,775,272
1 固定資産	12,786,442
(1) 有形固定資産	11,685,149
(2) 無形固定資産	3,984
(3) 投資その他の資産	1,097,309
2 流動資産	3,988,830
(1) 現金及び預金	2,526,911
(2) 未収金及び未収収益	1,344,956
(3) 貸倒引当金( )	3,493
(4) 貯蔵品	94,618
3 繰延資産	-
負債合計	10,903,545
1 固定負債	7,760,181
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,567,761
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,180,109
(7) 一ス債務	12,311
2 流動負債	1,914,586
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	740,999
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	607,877
(6) リ一ス債務	3,467
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	501,423
(9) 前受金及び前受収益	2
3 繰延収益	1,228,778
(1) 長期前受金	6,628,220
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,399,442
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	5,871,727
1 資本金	7,747,218
2 剰余金	-1,875,491
(1) 資本剰余金	1,846
(2) 利益剰余金	-1,877,337
負債・資本合計	16,775,272
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	520,273	528,535
資本勘定繰入	518,202	580,477
計	1,038,475	1,109,012

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		公立八鹿病院組合			
病院名		公立村岡病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,995 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	42	45.9	52.3	53.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	45.9	52.3	53.8
平均在院日数(一般病床のみ)		9.0	6.1	7.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	593,508			
1 経常収益	592,742			
(1) 医業収益	418,956			
(うち修正医業収益)	418,956			
入院収益	227,899			
外来収益	178,340			
診療収入計	406,239			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	12,717			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	173,786			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	113,952			
(うち長期前受金戻入)	10,292			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	766			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	601,695			
2 経常費用	601,493			
(1) 医業費用	541,689			
職員給与費	339,587	81.1	59.4	87.7
材料費	93,984	22.4	26.1	13.6
(うち薬品費)	65,539	15.6	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,834	4.7	11.8	5.9
減価償却費	26,898	6.4	8.7	12.7
経費	78,887	18.8	22.1	45.1
(うち委託料)	45,630	10.9	11.7	21.3
研究研修費	1,180			
資産減耗費	1,153			
(2) 医業外費用	59,804			
(うち支払利息)	302	0.1	1.0	1.0
(3) 特別損失	202			
損益				
経常収支比率	98.5		103.3	101.7
医業収支比率	77.3		85.5	62.5
修正医業収支比率	77.3		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	19.2		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	27.2		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	19.2		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	79.6		91.9	67.5

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,775,272
1 固定資産	12,786,442
(1) 有形固定資産	11,685,149
(2) 無形固定資産	3,984
(3) 投資その他の資産	1,097,309
2 流動資産	3,988,830
(1) 現金及び預金	2,526,911
(2) 未収金及び未収収益	1,344,956
(3) 貸倒引当金( )	3,493
(4) 貯蔵品	94,618
3 繰延資産	-
負債合計	10,903,545
1 固定負債	7,760,181
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,567,761
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,180,109
(7) 一時借入金	12,311
2 流動負債	1,914,586
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	740,999
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	607,877
(6) リース債務	3,467
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	501,423
(9) 前受金及び前受収益	2
3 繰延収益	1,228,778
(1) 長期前受金	6,628,220
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,399,442
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	5,871,727
1 資本金	7,747,218
2 剰余金	-1,875,491
(1) 資本剰余金	1,846
(2) 利益剰余金	-1,877,337
負債・資本合計	16,775,272
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	113,952	113,952
資本勘定繰入	7,446	7,446
計	121,398	121,398

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	北播磨総合医療センター企業団		
病院名	北播磨総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	38,109 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	34	指定病院の状況	救臨地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上~500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	450	75.6	77.9	77.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	450	75.6	77.9	77.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.8	11.3	11.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,771,844			
1 経常収益	18,730,931			
(1) 医業収益	16,311,227			
(うち修正医業収益)	16,009,472			
入院収益	10,826,534			
外来収益	4,849,631			
診療収入計	15,676,165			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	635,062			
(うち他会計負担金)	301,755			
(2) 医業外収益	2,419,704			
(うち国・都道府県補助金)	739,050			
(うち他会計補助・負担金)	1,243,454			
(うち長期前受金戻入)	197,965			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	40,913			
(うち他会計繰入金)	40,000			
総費用	18,289,043			
2 経常費用	18,231,486			
(1) 医業費用	17,255,083			
職員給与費	8,318,042	51.0	59.4	57.2
材料費	5,183,822	31.8	26.1	28.0
(うち薬品費)	2,048,794	12.6	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,051,851	18.7	11.8	12.7
減価償却費	1,285,662	7.9	8.7	8.0
経費	2,391,373	14.7	22.1	19.0
(うち委託料)	1,672,062	10.3	11.7	10.0
研究研修費	66,044			
資産減耗費	10,140			
(2) 医業外費用	976,403			
(うち支払利息)	111,156	0.7	1.0	1.0
(3) 特別損失	57,557			
損益	499,445			
純損益	482,801			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.7		103.3	103.2
医業収支比率	94.5		85.5	88.6
修正医業収支比率	92.8		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.5		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	8.4		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	94.3		91.9	93.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,534,579
1 固定資産	15,484,285
(1) 有形固定資産	11,717,554
(2) 無形固定資産	893,180
(3) 投資その他の資産	2,873,551
2 流動資産	5,050,294
(1) 現金及び預金	2,185,394
(2) 未収金及び未収収益	2,751,981
(3) 貸倒引当金( )	8,315
(4) 貯蔵品	117,716
3 繰延資産	-
負債合計	18,316,727
1 固定負債	11,991,413
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,807,435
(2) その他の企業債	100,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,083,978
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,779,927
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	960,765
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	465,000
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,212,776
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,545,387
(1) 長期前受金	7,464,840
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,919,453
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,217,852
1 資本金	428,387
2 剰余金	1,789,465
(1) 資本金剰余金	504,986
(2) 利益剰余金	1,284,479
負債・資本合計	20,534,579
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,824,986	1,585,209
資本勘定繰入	475,613	14,791
計	2,300,599	1,600,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。